

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 ぎふ清流文化プラザ設備改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化創造課 文化施設係 電話番号：058-272-1111(内3123)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 223,844 千円 (前年度予算額：299,923 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	299,923	0	0	0	0	0	0	269,900	30,023
要求額	223,844	0	0	0	0	0	0	0	223,844
決定額	208,051	0	0	0	0	0	0	174,400	33,651

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・当該施設の主たる駐車場である地下駐車場にある側溝は、利用者が躓く等を防ぐ対策が一部されているものの、全面には行われていない。様々な利用者が使用する場所であるため全面に安全対策を行う必要がある。
- ・建設から28年が経過し、壁や天井は経年劣化による汚損や塗装の剥がれ等が見られる。本施設では国民文化祭が開催されることから、利用されるルートを中心に修繕する。
- ・施設内の温度・湿度を管理するために必要な吸収式冷温水機は、設置後28年が経過し、劣化確認されている。故障した場合は貸館利用の停止等が考えられ、施設運営に支障を来すため更新が必要である。施設運営を継続しつつ全面的に更新するためには、設置器具等に様々な検討要するため、事前に実施設計を行う。
- ・用途によってステージ及び椅子の向き及び位置等のレイアウトを設定できる長良川ホールの可動床は設置から28年が経過し、劣化症状が確認されている。また、製造終了等から部品交換による修繕が困難となっている。故障した場合は施設利用が不可能になる等多大な支障を来すことになるため、改修が必要である。
- ・空調機器の稼働に必要な機器である冷却塔は、設置後28年が経過し劣化症状について指摘されている。故障した場合は関連する館内の空調機器が利用できず、施設運営に影響を及ぼすため更新が必要である。
- ・直流電源装置用蓄電池は経年劣化が確認されており、故障した場合には非常電源が動作せず、利用者の安全が確保できない危険性があることから、安全な施設運営のためにも更新が必要である。

(2) 事業内容

- ・地下駐車場床側溝の安全対策
- ・各所の修繕工事
- ・【設計】吸収式冷温水機の更新
- ・長良川ホール可動床制御システムの改修
- ・冷却塔の更新
- ・直流電源装置用蓄電池の更新

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

県民ふれあい会館設備改修事業費

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	7,834	・【設計】吸収式冷温水機の更新
工事請負費	216,010	・地下駐車場床側溝の安全対策 ・各所の修繕工事 ・長良川ホール可動床制御システムの改修 ・冷却塔の更新 ・直流電源装置用蓄電池の更新
合計	223,844	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。
財源には、県債を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

施設の計画的修繕に関して、施設の長寿命化計画を策定。

(2) 国・他県の状況

施設の老朽化対策は全国的な懸案事項となっており、地方公共団体は個別施設ごとの長寿命化計画を策定している。

(3) 後年度の財政負担

単年度事業

(4) 事業主体及びその妥当性

指定管理者との協定に基づき県が実施すべきもののみを対象とする。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

長良川ホール可動床制御システムの改修、冷却塔の更新を実施し、安定的な会館運営を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標	
					(R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

県有文化施設の修繕に要する経費であり、その性質上、指標を設定することが困難なため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	ぎふ清流文化プラザ直流電源装置整流器盤更新工事 ぎふ清流文化プラザ長良川ホール吊物装置制御盤修繕工事 施設の改修等を実施することにより、センター利用者に安心・快適に利用いただける施設づくりを行った 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 3 年度	ぎふ清流文化プラザ屋上防水改修工事 ぎふ清流文化プラザボイラー設備更新工事 ぎふ清流文化プラザ舞台機構設備緞帳修繕工事 ぎふ清流文化プラザゴンドラ改修工事 施設の改修等を実施することにより、利用者に安心・快適に利用いただける施設づくりを行った。 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 4 年度	ぎふ清流文化プラザ空調用ポンプ更新工事 ぎふ清流文化プラザ長良川ホール調光装置等改修工事設計業務委託 ぎふ清流文化プラザ長良川ホール音響設備改修工事 施設の改修等を実施することにより、利用者に安心・快適に利用いただける施設づくりを行った。 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	指定管理制度を導入するにあたり、県と指定管理者間で下記の取り決めを行っている。 ・施設の大規模改修については、県の負担とする。 ・施設の修繕及び備品の負担区分については、 修繕：60万円以上 備品：10万円以上 を県負担とする。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	計画的に修繕を実施することで、故障時の対応が容易にでき、公演休止やホールの休館等を防ぐことができる。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	指定管理者より修繕・更新を必要とする設備機器の優先順位の聞き取り調査を行いながら、計画的に実施している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 各種設備の経年劣化が進む中で、要修繕事項が増加してきている。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 設備の劣化状況を鑑み、計画的に修繕を実施していくほか、大規模改修については財政当局と協議をしながら、円滑な施設の維持管理を行っていく。
--